

改善報告書

令和 7 年 7 月 24 日

1. 大学名：滋慶医療科学大学

2. 認証評価実施年度：令和 5 年度

3. 「改善を要する点」の内容

基準項目：2-1

○学年進行中の医療科学部臨床工学科の在籍学生数は年次ごとの入学定員合計の 0.5 倍未満であることから適切な学生受入れ数を維持するための改善が必要である。

4. 改善状況及び結果

基準項目 2-1 について

本学の医療科学部臨床工学科開設（令和 3(2021)年度）に係る広報から 4 年間にわたる学生確保不調の主な原因については、初年度の新型コロナウイルス感染拡大に伴う広報活動上の制約等に始まり、大学知名度向上の遅れ、受験生の進路決定の早期化等への対応の遅れなどが挙げられる。

これらの原因を踏まえ、本学では以下の取組みを行ってきた。

まず、本学の物的・人的規模を踏まえ、従来の入学定員 80 名を令和 6(2024)年度から 40 名へと変更し、それに伴い収容定員を 160 名とした【資料 2-1-1】【資料 2-1-2】【資料 2-1-3】。また、変更後の入学定員を満たす入学生を確保するべく、令和 5(2023)年度から、①広報に係る体制の拡充、②受験生サイトの新規構築、SNS（Social Networking Service）の更新増加、広報用動画の掲載増加及びパンフレット・DM（Direct Mail）の刷新、③病院・企業等の現場見学の実施及び学生寮体験等イベントの充実、④出前授業実施等の高校との連携強化、などの抜本的な取組みを継続的に行っている【資料 2-1-4】【資料 2-1-5】【資料 2-1-6】。

これらの取組みの結果、入学定員充足率は、令和 6(2024)年度は 70%、令和 7(2025)年度は 125%となり、入学定員を上回る学生を受入れることができた。また、編入学試験を実施し、編入学生の受入れを図ることで、収容定員充足率も向上している【資料 2-1-7】。

令和 8(2026)年度の入学者確保に向けては、アドミッション・ポリシーの見直し及び改定を行うなど、受験生に本学の受入れ方針が伝わりやすいよう取組んでいる【資料 2-1-8】。現在の高校生等のオープンキャンパス等のイベント参加状況は、令和 7(2025)年度入学に係る状況と同水準で推移している。また、総合型選抜入試受験に係る適性検査受験者数も順調に推移している【資料 2-1-9】。

これらのことを踏まえると、今後も定員を満たす入学者の確保が期待できる。

なお、本学では、令和 8(2026)年度からの新学科（医療科学部診療放射線学科（仮称）（入学定員 40 名））の設置を構想し、現在、行政手続や事前広報活動等の準備作業を進

めているところである【資料 2-1-10】。

5. エビデンス（根拠資料）一覧

基準項目 2-1 の資料

- ・【資料 2-1-1】 20230615_学部_教授会_議事要旨
- ・【資料 2-1-2】 20230713_学部_教授会_議事要旨及び関連資料
- ・【資料 2-1-3】 滋慶医療科学大学 学則
- ・【資料 2-1-4】 滋慶医療科学大学ホームページ 動画で見る滋慶医療科学大学
https://www.juhs.ac.jp/admissions/jikei_stories/
- ・【資料 2-1-5】 滋慶医療科学大学ホームページ オープンキャンパス&適性検査・対策セミナー
https://www.juhs.ac.jp/admissions/examinees/aptitude-test_seminar/
- ・【資料 2-1-6】 20250109_学部教授会_議事要旨
- ・【資料 2-1-7】 学部、学科別在籍者数一覧（過去 5 年分）
- ・【資料 2-1-8】 20250306_教授会_議事要旨及び関連資料
- ・【資料 2-1-9】 学部_資料請求数及び来学イベント参加者数等一覧
- ・【資料 2-1-10】 20241129_理事会_議事録